

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

1月14日 第17号
文責 校長 山下



あけましておめでとーびーざーいませす

2022年、令和4年が始まりました。子どもたちは、「頑張れば達成可能な志」を立てることができたでしょうか。今週から3学期も始まりました。新しい年の始まりは1月ですが、学校は一年のまとめをする学期です。今の学年の締めくくりをしっかりとしてほしいと思います。

11日の始業式では、1年代表の村堀蒼己君が「時間の使い方と勉強方法」、2年代表の清水利輝君が「家庭学習に取り組み学年の雰囲気や自分たちらしい崎中、健康に過ごすこと」、3年代表片山莉世さんが「受験に向けての決意とたくさんの思い出づくり」について、それぞれ堂々と決意を述べました。私からは、今年度のさつきやま魂の締めくくりの学期として、特に次の二つのことをお願いしました。

「一つ目は、自ら気付き、主体的に、『時を守り、場を清め、礼を尽くす』3学期にしてほしいということです。これは、今年度重点的に伝えてきたさつきやま魂の自主の精神です。2学期までに、先生方や生徒会役員からの声かけによって、随分主体的な行動が見られるようになりました。今学期はさらに進化させ、『自分たちが気付き、自分たちで声をかけ合い、自分たちが行動に移す』ことができるようになってほしい。『気付いた人が行動に移す』ことが大切です。特に、崎山中の新しいリーダーである2年生を中心とした新生徒会には期待しています。

二つ目は、『それぞれの学年で必要な学力を身に付けて、卒業・進級するように努力する』ということです。家庭学習もきめて、学習に対して強く目的意識をもち、粘り強くあきらめないで努力する。つまり、さつきやま魂の錬磨の精神です。そのためには、授業が最も重要ですが、授業に臨むための家庭学習、特に自主学習には力を入れてほしいと思います。

・全員が確実に該当学年の学力を身に付け、3年生は進路実現、1・2年生は進級につなげてください。自分の健康には十分に気を付けて、3月には全員そろって感動の卒業式修了式を迎えられることを祈念していただきます。」



<崎山の初日の出>



今年も門松をつくりました

12月27日(月)、事前準備していた永さんから、今年も門松の役員を担うことになりました。結果はかなりの出来映えで、令和4年が良い年になりそうです。



二年ぶりに「おんのほね」実施

1月6日早朝、崎山小学校グラウンドで「おんのほね」が実施されました。これは、「崎山の子どもたち」の少人数でも地域行事の良さを感じてもらおうと、崎山地区健全育成協会の役員の方が、新年2日から準備をしていただき開催できた地域行事です。また、老人会の皆様からのげんざいの差し入れや鬼火の焼いた餅を頂きながら、今年一年の無病息災を祈りました。子どもたちは、地域の方から愛さ



れたいことが実感することができました。

おしらせ

1月22日(土)
英語検定
百人一首大会
(14:00~
崎山地区公民館)
1月30日(日)
青少年健全育成意見
発表会 (14:00~
市民体育館)

へトマト行事について

1月16日(日)に予定していたヘトマトが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、神事の実施と参加がなくなりましたが、地域行事の意義等を学ぶとともに、何らかの形で地域貢献をしたいと思えます。

おもりさんが来る
1月11日、崎山の地域行事である「おもりさん」を崎山中でも行っていた。

「おもりさん」は、平家の落人が持ち込んだとする経本に由来するといふ。この日は、経本10巻と餅、梅の小枝を載せた「もろぶた」を職員・生徒一人ひとりの頭に捧げ、「家内安全、無病息災」を祈っていた。伝統継承を大切に
する崎山のすばらしさを感じたひとときでもあった。

